



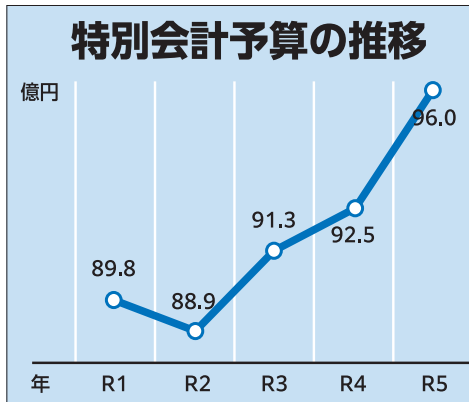
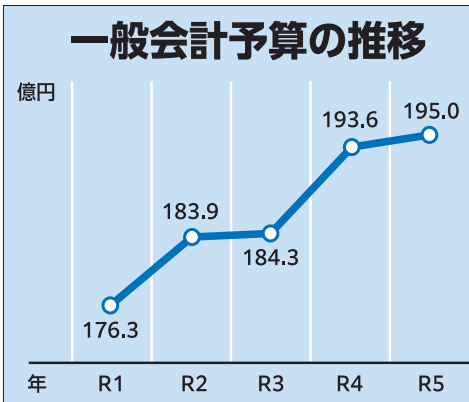
元村保育園のみなさん

第49号

今号の主な内容

- 予算審査/議決一覧…①～⑤
- 会派代表質問……………⑥～⑦
- 討論/かつこうのさえずり…⑧

発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会



令和5年度の予算は、子育て関連、都市整備関連、教育関連に重点を置いて組まれました。

【主な事業】

- 「子育て関連事業」に1億1300万円
 - ・3歳未満の第2子以降の子育て支援
 - ・子ども医療費給付を高校生等までに拡充
- 「都市整備関連事業」に4億1700万円
 - ・中心拠点商業地区開発事業
 - ・中心拠点形成促進に係る道路改良舗装工事
- 「教育関連事業」に8700万円
 - ・小中学校校舎等改修事業
 - ・学校給食費改定に伴う食材費の一部を市で支援

令和5年度当初予算案を可決

総額324億円

一般会計195億円・特別会計96億円・企業会計33億円

一般会計歳入

- 自主財源……………71億8,148万円
(市税・使用料・手数料等)
- 依存財源……………123億1,852万円
(地方交付税・国県支出金・市債等)

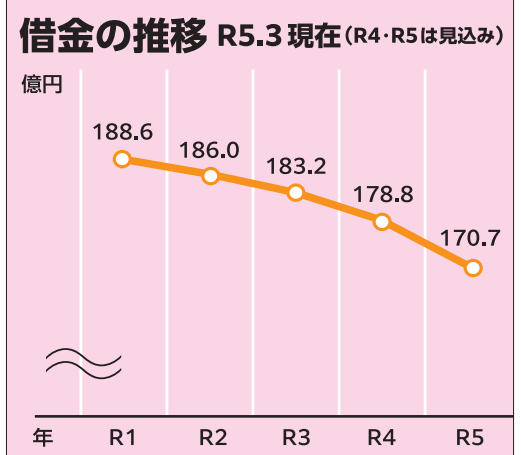
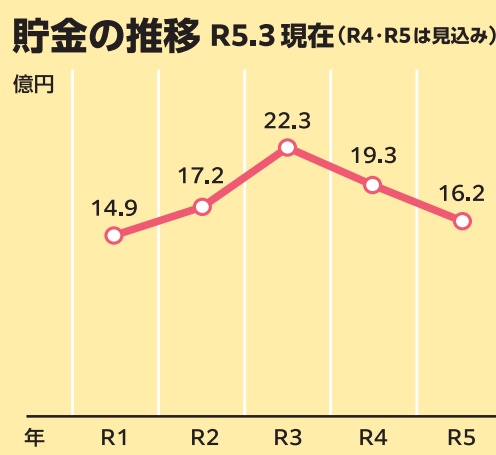


一般会計歳出

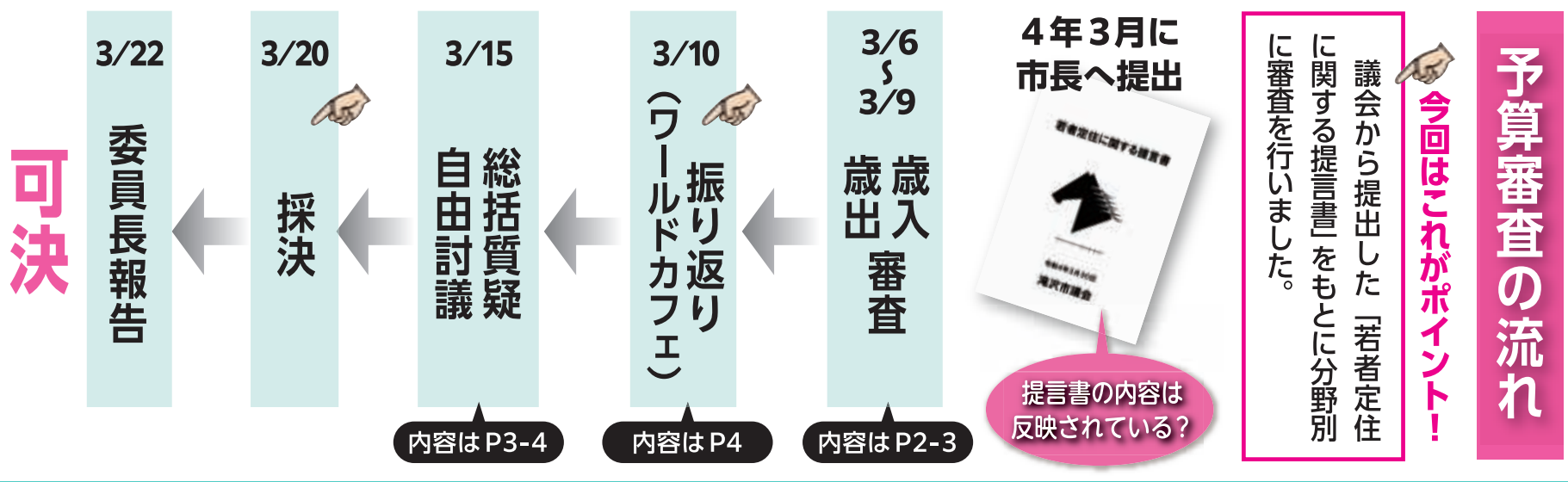
- 経常的経費……………162億9,094万円
(人件費・扶助費・公債費・物件費・補助費等)
- 投資的経費……………13億3,357万円
(普通建設事業費・災害復旧事業費)
- その他の経費……………18億7,548万円
(積立金・投資及び出資金・貸付金・繰出金等)

★貯金は前年度比で16.0%の減

★市民一人あたりの借金は31万円で前年度比4.6%の減



*特別会計の金額は、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護保険介護サービス事業の合計です。
*企業会計の金額は、水道事業・下水道事業の合計です。



歳入

《市税》

個人分の増収要因は、

前年税収実績により増収と見込んでいます。

法人分の増収要因は、

法人数は昨年と同様の988社で試算しています。

均等割区分の変更などにより、調定額は356万円増、法人税割額は3942万円増と見込んでいます。

前年度はコロナ禍のなか製造業が好調でした。

今年度はプラス基調で増額の予算を見込んでいます。

固定資産税増収の要因は、

農地から宅地への地目変更が主な要因です。

4年の新築着工数260棟を見込み試算しています。

《地方消費税交付金》

前年比9600万円増の要因は、

国の算定基準に基づき算定し、地方財政計画で11.3%の伸びで計算されています。

国の経済見通しでは、実質GDP(国内総生産)の成長率が1.7%程度に対し、民間最終消費支出が約2.2%程度伸びることから、全体の消費税の枠も総じて増加します。全国と県内の伸びが同じでな

く、これまでの市の決算実績に基づき算定しています。

《地方交付税》

2億5800万円増の要因は、

普通交付税(94%)が2億800万円程度、特別交付税(6%)が前年比で5千万円程度増と見込んでいます。

特別交付税は、これまでの傾向から堅調と見込み増額しています。普通交付税は、国で地方の借金を減らすための当初予算が組まれているため、大幅に増額しています。

《使用料・手数料》
牧野使用料の増額要因は、

乳用牛の夏期の放牧頭数が増加傾向であることから増額を見込んでいます。

《I・P・U・I・N・ベーションセンター》使用料増額の要因は、

昨年7月に1社が入室し、満室となり増額を見込んでいます。

《国庫支出金》
道路局所管補助金の増額の要因は、

菓子野沢線を社会資本整備総合交付金から補助金事業への変更によるものです。

また、更なる事業の推進を図るため、国の重点である交通安全対策補助を活用します。

歳出 若者定住について

各分野において次の質疑を行い、提言の反映状況を確認しました。
①提言内容の事業への反映状況 ②予算検討時点での提言書の検討内容 ③事業計画時の市民参加

総務教育分野

【地域学校協働活動推進事業】

ポイント 若者による課題掘り起こしの取り組み

今までも若者定住を中心に取り組んできましたが、全庁体制による若者定住支援について新たに学びプランを策定する予定です。また、さまざまな場面で市民の皆さんに参加していただき、学校の応援団として地域の宝である子どもたちを、地域でいかに応援していくかという点で議論しています。

【小中学校復興教育支援事業】

ポイント 若者による課題掘り起こしの取り組み

震災津波による被害や経験を通し郷土への思いを風化させないために推進していきます。今後も地域の方々の意見をいただきながら復興教育を進めていくことで、ふるさと愛や滝沢への誇り・郷土愛が醸成されるようにします。

【デジタル発信推進事業】

ポイント 事業の企画・立案・展開・発信の部局横断的取り組み

新たな窓口(若者魅力発信室)ができたことを庁内に広く知らしめ、さまざまな取り組みが相談できるよう庁内に向けて発信していきます。

【地域自治活動事業】

ポイント 多忙な若者が地域活動に参加しやすい環境づくり

地域の自治活動は世代を問わずすべての方々に参加する活動ですが、これからの自治会活動の在り方として、さまざまな生活スタイルの方々活動しやすい自治会をめざして、子育て世代との接点づくりや関わりを持てる機会づくりなどに取り組みます。

環境厚生分野

【放課後児童健全育成事業】

ポイント 放課後児童クラブの体制強化

各団体からの意見を伺いながら、地域間の格差を把握するとともに、是正をめざす検討も行いました。

【保育対策総合支援事業】

ポイント 保育士に対する各種支援

保育士就労のための具体的な支援策も含め、関係者から意向を伺い検討しました。

ポイント 保育士をめざす学生に対する支援

奨学金返済に対する助成について必要性も認識しており、今後も引き続き検討します。4年度にも実施した学生対象のバスツアーを予定しています。

【障がい児保育巡回指導事業】

ポイント 保育士に対する各種支援

他市町と事業の比較はしていませんが、スキルアップへの対応として巡回指導だけでなく、情報交換や研修の場を設け、効果的に実施しています。関係者へアンケート調査も行い検討しました。

【子育てのための施設等利用給付事業(保育)】

ポイント 保育園の利用者への対応

日常的に利用者からの意見を参考にしながら施設ごとに保育園の利用のしやすさを検討しました。

【母子・父子自立支援事業】

ポイント 保育園の利用者への対応

施設利用のしやすさを意識し検討しました。市民参加において不足している部分は制度の周知を図りながら意見を伺います。

産業建設分野

【農業担い手育成対策事業】

ポイント 若手農業者が定着できる農業政策の検討

新規農業者育成対策として若者の参画をめざしています。認定新規就農者の設置や全国農業青年交換大会への派遣など各種の支援策を講じています。農業経営の将来などの懇談会を実施し、中学生に農業体験や農業を職業と捉えた座学を開催しています。

【企業誘致事業】

ポイント 岩手県立大学周辺以外の場所の企業誘致の検討

滝沢中央スマートIC周辺を考え、交通量、住環境など諸課題を整理し、提

言内容を反映させ取り組みます。テレワーク、地方拠点化、分散化は、チャンスと捉え取り組みます。

首都圏企業を積極的に訪問し、市に誘致した企業の情報、若者との情報交換を大切にしています。

【公園維持管理事業】

ポイント 計画的な維持管理の実施

公園の長寿命化計画を策定し、遊具の改修・更新は膨大な数のため、予算、優先順位などを考慮し進めていきます。

公園の住環境向上に向け、市民、自治会と協議を進めます。今般の社会情勢の変化、人口流動を考慮し、公園の適正な配置などを実施します。

歳出 若者定住以外の質疑

総務教育分野

【小・中学校校舎等補修事業】

Q:各校の補修要望に対して今年度の実施予定は。
 A:各校からのヒアリングをもとに優先順位を決め、5年度小学校は96件中24件、中学校は45件中9件を予算化しました。
 Q:要望に対して3分の1以下の実施予定だが、スロープや壁など補修が必要な部分が残っている。補正を組んで進めるべきでは。

A:要望は大小さまざまです。補修の中で予算計上は小規模なものが中心であり、大規模なものは改修の時でないとは実施できません。
 Q:補修についても多くの要望が見られた。早急に対応すべきでは。
 A:年度途中でさまざまな補修が発生し対応している状況です。状況を見ながら安心安全を最優先に進めていきます。

環境厚生分野

【環境保全対策事業】

Q:自動車騒音に対する具体的な予防対策は。
 A:3年度調査において、一般道路2路線で要対策箇所が示されていますが、対象が不特定多数のため具体的な対策は困難と考えています。

A:各医療機関において、患者に即した外来診療の提供を行うことです。

【在宅医療・介護連携推進事業】

Q:本市で未対応の在宅医療を確保する活動も必要では。
 A:活動までは至っていませんが、関係機関との会議を開催しながら職種の理解や課題を共有し、必要な支援を円滑に提示できるよう連携を進めています。

【在宅救急当番医制事業】

Q:日中の初期救急医療に期待する具体的なサービスは。

産業建設分野

【有害鳥獣対策事業】

Q:農家への鳥獣対策の周知は。
 A:広報への掲載や職員の訪問時の説明、チラシ配布などを行います。

【チャグチャグ馬コ関連事業】

Q:観光客を市内にとどめる施策は。
 A:ピックルーフ滝沢で「ふれあいまつり」を終日行う予定です。

【物産振興事業】

Q:イベント出店予定は。
 A:県外イベントは県主催1件、市独自では2件予定しています。
 Q:赤字でも育てる考えが必要では。
 A:観光物産協会と共に積極的に活動します。

【市道等維持管理事業】

Q:今年度の実行計画は。
 A:修繕の実施は、小規模は業者へ依頼し、大規模は3年度より緊急自然災害対策事業債を活用しています。

総括的質疑

総括的質疑は、各分野各事業にまたがった質疑です。

《若者定住》

問 若者の活躍の場づくりにおいて、若者との連携や地域の交流につながる事業の具体的内容は。
 答 市の課題解決を若者目線で行う学生アルバイトの活用、岩手県立大学や岩手大学と実習で連携する事業や、学生が地域との関わりをもつカフェ、子ども食堂などの事業を継続します。

問 市が空き家を購入して若者の居場所づくりにする考えは。
 答 空き家の諸条件をしっかりと捉え、今後の展開として部局を越えて庁内横断的に検討します。

問 市独自の若者支援策の拡充は。
 答 国、県の補助事業が中心になりますが、保育士の宿舎借り上げ補助の拡大、保育士のバスツアーの開催、インフルエンザ予防接種助成費拡大、子ども医療費助成の対象拡大といった事業を独自で実施しています。

問 自治会活動における子育て世代との接点づくりへの支援は。
 答 自治会連合会とともに自治会のあり方検討支援事業として必要な支援を行います。

ます。併せて、他自治会の好事例などを情報共有していきます。
 出前講座のメニューにこれからの自治会のあり方を追加しています。

《子育て》

問 子育て支援と子育て支援のバランスは。
 答 子育て支援という枠組みの認識はありませんが、各事業において主体性づくりや居場所づくりなど育む取り組みを展開していきます。

問 不登校児童の居場所づくりを各小学校区に設置しては。
 答 現状では、あったかハート支援員を市内3中学校へ、フレンド滝沢を市役所分庁舎へ配置しています。今後も、本人と保護者を含め相談した上で協議をし、個別の状況に応じて対応していきます。

問 学校施設関係の小規模改修予算の考えは。
 答 校舎等改修事業と校舎等補修事業の整理を行った結果です。国庫補助活用の大規模のものを改修事業、小規模のものを補修事業としています。

問 市街化区域に占める商業の用途は10%となり、近隣市町と比較しても低い割合です。岩手県立大学周辺地域の拡張や、滝沢中央スマートIC周辺の開発も検討しています。
 問 滝沢中央スマートIC周辺の開発は。
 答 盛岡環状線の渋滞具合、盛岡西回りバイパス北バイパスの線形が大きな課題であり、国・県と認識を共有しながら協議をしています。

問 学校給食費の値上げについての再検討は。
 答 総合教育会議にて食料費の値上げに伴う激変緩和措置として、値上げ分の半額は市で負担をすることで承認していただきました。

《医療体制》

問 医師確保のため、岩手医科大学とも関係強化が必要では。
 答 岩手西北医師会、保健所、県の医療政策室との協議を進めており、岩手医科大学との関係は今後検討します。

問 不足する診療科クリニック確保のため、中心拠点への開院の支援は。
 答 中心拠点へは全体への補助を行い、個別への補助は考えていません。

問 法人税取向上のために事業用地拡張の考えは。
 答 地域間格差も見受けられ、充足度も勘案しながら検討します。

《観光政策》
 問 各地域の特色を掘り起こし市内の観光に対する誘客につなげては。
 答 地域別計画にうたわれている地域の宝を磨き上げていくことと同様に、市の補助事業の活用を勧めます。
 問 登山やキャンプ場の有料化は。
 答 入山料は登山口が明確ではないことや県および関係市町の動きが見られないので検討していません。
 キャンプ場は、有料化に伴う人員配置など管理面に係る整備への費用も考慮して検討します。

《交通問題》
 問 適切な交通サービス水準を確保するため、さまざまな観点から全市を検討対象とすべきでは。
 答 地域間格差も見受けられ、充足度も勘案しながら検討します。

問 地域情勢をふまえ、移動、配達、臨時設置など適切な方法の検討は。
 答 各地域により、状況が異なるので一律に考えるものではないと考えています。

問 菓子駅前広場駐車場の有料化の進展は。
 答 パークアンドライドを目的としており、IGRの状況を見守りながら検討しています。

問 学校施設関係の小規模改修予算の考えは。
 答 校舎等改修事業と校舎等補修事業の整理を行った結果です。国庫補助活用の大規模のものを改修事業、小規模のものを補修事業としています。

問 市街化区域に占める商業の用途は10%となり、近隣市町と比較しても低い割合です。岩手県立大学周辺地域の拡張や、滝沢中央スマートIC周辺の開発も検討しています。
 問 滝沢中央スマートIC周辺の開発は。
 答 盛岡環状線の渋滞具合、盛岡西回りバイパス北バイパスの線形が大きな課題であり、国・県と認識を共有しながら協議をしています。

ワールドカフェで意見交換



3/6~3/9の質疑を終え、議会アドバイザーである佐藤淳氏の協力のもと以下の項目について、ワールドカフェ(※)による意見交換を行いました。

- ① 予算審査の振り返り
- ② 執行機関へ言いたいこと
- ③ 若者定住の予算執行にあたって注意してほしいこと



用語解説
 ※ワールドカフェ
 「カフェ」のような雰囲気の中で、シャッフルしながら少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、参加者全員の意見や知識を集めることができる対話手法の1つ。



Q. 執行機関へ言いたいこと

- 若者が働きたいと思えるような魅力的な企業を育ててほしい。そのためにも、公共事業などは、なるべく地元企業最優先に。
- 言葉だけで終わることなく若者定住を意識して目標に向かって事業を進め、目標値をしっかりと設定する。
- 若者にいかに「残ってもらうか」ということを真剣に考えてほしい。
- 単年度では厳しいかもしれないが、中長期スパンで確実に進むよう提言を実行してほしい。
- 提言書の中身の理解を末端まで徹底を。
- 空き家を活用し若者がいつでも引越し入居できる状態を創出すること、もっと積極的に「空き家バンク」登録を。
- 説明と実行に違いがないように。 など

Q. 予算執行にあたって注意してほしいこと

- 質疑した内容で不足と思った内容、検討すると答弁した内容は、補正予算でも対応してほしい。
- 複数年度を見据えた計画的な執行と予算を確保してほしい。
- 事業の執行予算に無駄がないように。
- 地域・職種等による格差を発生させない取り組みをしてほしい。
- いつまでに達成させるのかがわかる事業（若者定住について）は、そのスケジュールなどが伝わると、より審査しやすいので事前説明を大事にしてほしい。
- 当初予算で出された質問を考慮し、補正も視野に入れて、より住民のためのものにしてほしい。 など

委員間で自由討議を実施

若者定住に関する提言書の分野ごとの審査後、各専門委員会で5年度事業に提言内容が十分反映されているか検討し、全体で自由討議を行いました。



総務教育分野

地域づくり関連事業への反映度が低いのでは。

各委員より

- 地域づくり活動は、若者子育て世代を取り込んで活動するのに最適であり、自治会とも横の連携を取っていくことが必要と考える。
- 提言を受けて取り組んでほしい。
- 若者が活躍できる新たな取り組みが必要である。 など

環境厚生分野

以下の点について改善点、更なる検討が必要では。

- ① 事業の市民抽出方法 ② 対象市民の漏れを回避すること ③ 行政DXの対応

各委員より

- 補助のある事業でも対応が遅い。DXにも速やかに対応すべきである。
- 窓口以外の要望にもSNSなどの媒体を活用し要望に応えていくべきでは。
- 待ちの姿勢ではなく攻めの姿勢で情報を提供するべきでは。 など

産業建設分野

- ① 空き家対策、公園の整備、都市計画においてほとんど反映されていない。
- ② 遊具の使えないものはロープで囲うだけ、年間数基しか修理されていない。

各委員より

- 若者定住のための空き家のマッチングはぜひ進めるべきである。
- 遊具点検の基準をもう少し柔軟性のあるものにしていくべきである。
- 遊具の撤去はまとめて入札を行えば効率よく実施でき経費も抑えられる。
- 空き家は早く撤去してほしいところがあるが全く手が付けられていない。 など

附帯決議(※)を提出



予算審査の中で課題となった施策について、執行機関が若者定住に関する事業間の連携・調整を十分に図り、事業がさらに円滑に実施されるよう委員会として附帯決議を提出しました。内容は次のとおりです。

総務教育分野

地域づくりに関して職員による助言又は協働による支援。部局を超えた横断的な協力。

環境厚生分野

申請漏れを回避するため積極的かつ能動的な姿勢で周知。行政手続きの円滑化に向けて行政DXを意識して対応。個人情報保護に関する取り組みの徹底。

産業建設分野

公園の遊具について使用できないものは遅滞なく撤去する方策を検討。空き家の利活用方法や若者定住につながる情報提供の更なる多様な手段の検討。

用語解説
 ※附帯決議
 予算執行にあたっての留意事項を示したもの。

